



越谷南ロータリークラブ会報

会長 岩淵秀一 幹事 染谷宗一 会長エレクト 小林光蔵

R I 会長テーマ 「奉仕を通じて平和を」

クラブ会長テーマ 「奉仕を楽しむ為に60名会員の達成を」

平成24年11月1日第1882回例会

ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」

ゲスト・ビジター紹介 米山奨学生 馬 俊涛君

今月の誕生祝い・・・糸賀会員、石塚会員、中内会員



今月の結婚祝い・・・池田(泰)会員、深井会員、斎藤会員
神谷会員、瀬尾会員、二川会員、中島
会員、清村会員



会長挨拶

去る、10月29日、当クラブの長谷川会員が、急逝されました。ご遺族のご意志によりより少人数のみでお会いして来ました。その際、お棺の中にクラブのバナーと名札を入れてさせて頂き会員の思いを届けてまいりました。

ひろよし

故長谷川 廣 良 さんのご冥福をお祈りし黙とうをささげたいと思います。

さて、11月は財団月間です。財団のお話を少しさせていただきます。

ロータリー財団の始まり
始まりは26ドル50セント

1917年、アーチ・クランプはアメリカ・ジョージア州アトランタで開催された国際大会で、「ロータリーが基金を作り、全世界的な規模で、慈善、教育、その他、社会奉仕の分野で、何か良いことをしようではないか」と提案しましたが、その背景には、彼の生い立ちが影響していたのかもしれませんが。彼の提案は、同大会で採択されました。ロータリー基金（ロータリー財団の前進）への最初の寄付は、1917年、ミズーリ州カンザスシティロータリークラブからの、26ドル50セントでした。今日のレートで計算すると、3000円と少しというところですが、今から90年前のことです。現在の物価に換算するとどのくらいの金額になるのでしょうか。アメリカと日本の違いもあり、単純に換算することは難しいのですが、私達が単純に考えているよりは、はるかに多い金額だったのかもしれない。

初めはゆっくりと

さて、今日、世界中で大きな貢献をし、重要な役割を果たしているロータリー財団が初めから順風満帆であったかという、決してそうではなかったようです。続く数年間、クランプは一人芝居をしているように感じたに違いない。彼は人気も高く、尊敬された指導者であり、ロータリー基金が新しいロータリー・クラブの設立や人道的救援の役に立つという彼の提案は好意的に受け止められていた。しかし、6年が経ても基金の残高はやっと米貨700ドルに達したに過ぎなかった。生みの苦しみを味わっていたこの基金も、基金総額が5,739ドル7セントに達した1928年ミネアポリス国際大会でこの基金による事業開始の時が来たとして、基金の名称をロータリー財団と改め、国際ロータリー定款・細則も改定されました。

この変更で、すべて元R I会長で構成される管理委員会が新しい財団を運営し、資金は国際ロータリーと別に管理することが規定されました。ロータリアンの善意で集まったお金が最初に使われたのは、その少し後のことです。

1929年の株価暴落後、さまざまな慈善活動に対する寄付金が枯渇するようになった。ポール・ハリスがロータリー財団に

きょしゅつ

最初の 拠 出 を要請したのはその時であった。財団は、オハイオ州エリリアのロータリアン、エドガーFアレンの発案で1919年に活動を開始した（国際障害児協会）のために500ドルの小切手を送ったとあります。

岩淵秀一会長



1947年には最初の財団プログラムが実現されました。それは、高等研究奨学金と呼ばれるもので、1年目は、米国、ベルギー、英国、フランス、メキシコ、中国、の18人の若い人達を選ばれ、他国ではそれぞれの専門分野を勉強しました。

当時は、この人達はポール・ハリス・フェローと呼ばれていましたが、最初の国際親善奨学生でした。

ロータリー財団は、多くのロータリアンによって、大きく花開くことになりました。特に、日本のロータリアンの果たす役割は、ロータリー財団の大きな支えになっています。

幹事報告

染谷宗一幹事

1. 第5回定例理事会の決議報告
2. 地区ロータリー財団よりグローバル補助金の（オンライン研修）の案内が来ています。
3. ロータリーの友からのお知らせが来ています。
4. 地区より地区大会スケジュール変更の案内が来ています。
5. 地区より「永年在籍会員表彰について」の案内が来ています。
6. 会員増強維持部門より新会員入会式現況調査のお願いが来ています。
7. 平成24年度越谷市交通安全市民大会の開催の案内が来ています。

詳細については幹事までお願いいたします。

委員会報告

- ・地域広報雑誌 IT情報委員会 藤田委員長
「ロータリーの友」の紹介がありました。
- ・新世代委員会 野呂田委員長
チャリティバザーのお話がありました。
- ・ロータリー財団常任委員会 池田（玄）委員長
ロータリー財団寄付のご協力のお話がありました。
- ・親睦委員長 清村委員長
親睦旅行・ゴルフ同好会のお話がありました。
- ・WCSインドネシア支援事業に係る餞別の授与
吉田会員



卓話

吉田会員

越谷市児童生徒国際理解図画展について

2代会長岩崎年度

I G F（現在のIM）の際、各部門の研究会に際し、国際奉仕部門に於いて先進国と途上国との間で支



援活動を検討する時、ネパールのカトマンズRCが提唱している結核予防施設への援助活動をする事に決め、各クラブ（当時9クラブ）で5万円計45万円を送る事に決定し、代表3人がネパール行きカトマンズRCの立会のもとネパール王国に直接手渡した。

3代会長石川年度

ネパールを訪問した3名の方にネパールの結核予防協会の現況について話してもらうことにより、ネパールへの関心が高まり、ネパールの子供を結核から救おうと募金活動をして18万円を集金し援助した。

4代会長押田年度

ロータリアンが提唱された使用済み切手収集運動が全国的に広がり、当地区でも全面的に支援する。当時使用済み切手200枚でBCG1本。

5代会長渋谷年度

市民への呼び掛けにより307,873枚の使用済み切手が集まりました。

6代会長池田年度

当時小学校5年生の国語の教科書にその活動が載っていた。ネパール結核と戦っていた岩村博士の存在を知り、岩村博士を越谷にお呼びしてお話をうかがうことが出来ました。活動が活発された中、池田年度3月頃ネパールの子供達が画いた10枚たらずの絵がお礼にということでネパールカトマンズから送られてきました。そこで市の教育委員会、教育研究会越谷南ロータリーと共にここに国際理解児童生徒図画展が開催されました。

7代会長青木年度

この図画展をきっかけにしてオーストラリアの3地区にきている支援学生と市内の小中学生との交流がなされ、それが御縁でキャンベルタウン市と越谷市の姉妹都市提携が実現した。

またこの図画展を通じて台湾台北RCとの交流、台湾台中南RCとの姉妹クラブ締結、台湾でも児童生徒の図画展が開かれるようになった。タイ国ノンザグリンロータリークラブ、パッカードスクールとの短期支援がなされた。アルゼンチンのグルーロータリークラブとの補助金援助などがあります。

そして今年33回目の国際理解児童生徒図画展が開催されました。

スマイル報告

石田さん、染谷さん、母校の野球優勝おめでとうございます。
明日からの図画展皆さん宜しくお願いします・・・岩淵
吉田さん卓話ありがとうございました・・・染谷、中野、
清村、浅水、岡田、野呂田、中尾、本田、田中、水町、黄、
池田、飯泉
記念月祝いありがとうございます・・・清村、中島、瀬尾、
深井、糸賀、石塚、神谷
誕生月、結婚月の皆様おめでとうございます・・・佐藤
明日から国際図画展が始まります。皆様のご協力宜しくお願い
致します・・・浜野
来春、我が母校甲子園出場おめでとう・・・石田
石田さん、染谷さん安田学園の秋の東京大会優勝おめでとう。
春の甲子園大会出場楽しみですね・・・小林(光)、飯泉、中
島
故長谷川先生のご冥福をお祈り致します・・・赤松、石野、
久木野
浅水さん素敵なお知らせですね。乗り換える時は格安で譲っ
て下さい。お待ちしております・・・遠山
結婚記念日です・・・二川
皆さんインフルエンザ等に気を付けて・・・赤松
これから四国に同級会に出発します・・・中島
本日大袋東小学校、新入学児童の健診の為早退します・・・
藤田
早退します・・・中村

出席報告

例 会 日	平成24年11月1日		
会 員 数	50名	出席	34名
出席免除者	11名	欠席	11名
出 席 率	87.1%	前々回MU	2名
MU 修正率	89.7%	会報担当：荒井	

————— クラブプロフィール —————

☆姉妹クラブ 国際ロータリー第3460地区
台中南区扶輪社(中華民国台中市)
☆例 会 日 毎週木曜日(PM0:30~1:30)
☆例会場・事務局 〒343-0842
越谷市蒲生旭町10-14 中野ビル2階
TEL 048-987-5761
FAX 048-987-5762
E-mail info@koshigayasouth-rc.jp

☆ホームページ <http://koshigayasouth-rc.jp/>

[越谷南ロータリークラブ](#)で[検索](#)

今後の予定、活動報告などを掲載